

農家と食卓を結ぶ中継地点

株式会社 宇和島青果市場



経営理念

少しでも農家の手取りを高くし、青果を安定的に供給すること

取扱作物

野菜、果樹等

設立

1955年

従業員数

17名

宇和島青果市場とは

宇和島青果市場（卸業者）は、農家で作った柑橘や野菜を集めて仲卸業者などに販売し、農家の所得向上に貢献するとともに、各食卓へ安定的に届ける重要役割を担っている。早朝から開始される「せり」では、「宇和島で生産された多様な柑橘類」のほか、「バナナ」や「パイナップル」などもが仲卸業者によって購入されていた。非常にスピーディーに行われ、「せり」終了後にはすぐさま出荷されてスーパーなどを通じて各食卓へ届くことになる。



市場に集荷された柑橘類

青果市場従業員としての思い

取材した4月下旬は、「河内晩柑」の収穫期であったことから、農家が出荷したたくさんの晩柑が「せり」にかけられていた。宇和島青果市場は、「農家の手取りを1円でも高くすること」と「野菜・果実の安定的な供給」を理念としているとのこと。「せり」終了後は、事務作業や地域の農家の元へ足を運んで集荷作業などに勤しむ。農家から「良い値段で売ってくれてありがとう」の一言に大きなやりがいを感じているとのこと。



せりの風景

これから新規就農を目指す方へ

農業は品質が良ければ単価も良くなります。南予柑橘というブランド的な価値もあることから、頑張った分が結果につながると思います。また、宇和島青果市場も少しでも農家の手取りが増えるよう頑張っています。資材費の高騰などで費用面もかさむ局面と思いますが、美味しい柑橘の生産のため頑張っていたいただければと思います。



せり後出荷されていく柑橘類